

# ～教員おすすりめ本～ No. 7

経営学部 経営学科  
藤本 和則



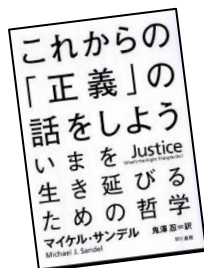
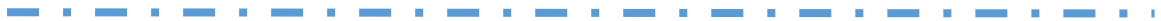
## 『社会はなぜ左と右に分かれるのか： 対立を超えるための道徳心理学』

ジョナサン・ハイト 著；高橋洋 訳

### 【先生からのコメント】

道徳心理学の第一人者ジョナサン・ハイトによる解説本です。社会は（政治的な意味で）左と右に分かれていきますが、本書では、「それはなぜか」について非常に明快な答を提示します。

ハイトの業績は、これまでの「認知 vs 感情」に対して、「直観 vs 思考」という視点を社会心理学に持ち込んだ点にあります。本書では、この社会的直観モデルについてもわかりやすい解説があります。道徳心理学という領域に興味を持たれた方は、一読の価値あります。



## 『これからの「正義」の話しよう： いまを生き延びるための哲学』

マイケル・サンデル 著；鬼澤忍 訳

### 【先生からのコメント】

「大勢の命を救うために、少数の人を殺しますか？」・・・この問にあなたはどうか答えるでしょう？ この本では、5人の命を救うために、本来は死ぬはずではなかった別の1人を犠牲にするかどうかを問う「トロッコ問題」からはじまり、正義とは何かについて議論を深めていきます。NHKの「白熱教室」に火が付いたのも、この本からでした。

最近の世の中を見ていると「正義とは何か」を考えさせられることも多いですね。そうした人にはまさにお薦めの本です。